



輪島市内を流れる河原田川の桜並木



2024.04-2025.03

活動報告書



公益財団法人 風に立つライオン基金

〒107-0052 東京都港区赤坂6丁目12番11号 赤坂甲陽ビル5F
<https://lion.or.jp/>



公益財団法人
風に立つライオン基金
THE LION STANDING AGAINST THE WIND FUND FOUNDATION SINCE 2015

Annual Report 2024
April-March 2024-2025

設立者ごあいさつ



大切な事は、大して目立ちもしない、
ささやかなことをささやかに、
それでも確かに実行して行くのだという
強い思い。

誰かのお役に立てたら幸せだと思っている人は日本中におられます。ところがなかなか目に見えるようなお役に立つことは出来ないものです。それで諦めてしまうのが普通です。
だが、決して諦めきれない人は沢山おられます。そこでそういう方に、一緒にやりませんか、とお声がけをするのが我々「風に立つライオン基金」のお役だと思っています。
一人では出来ないことでも沢山の人が集まれば何かの形になることがあります。
必ず形になるなどと、簡単には思わないのですが、努力を続けていけばいつかきっと届くと思うのです。届かなくとも近づくことは出来る筈なのです。
私たちの願いはそこにあります。
大きなことは出来なくても、小さくても確かに、誰かの役に立つと信じられることを探し、諦めずに継続することです。
財団が発足して10年が経ちますが、まだまだ思い通りに動くことが出来ません。
足りないものも沢山あります。
しかし出来たことも沢山在ります。
大切な事は、大して目立ちもしない、ささやかなことをささやかに、それでも確かに実行して行くのだという強い思い。
それこそが小さな私たちの大きな願いなのです。
この財団は沢山の方々への小さな力の集まりです。
財団は皆様のご寄付で成り立っています。
あなたの力を貸してください。

風に立つライオン基金 設立者 さだまさし

風に立つライオン基金の永久名誉顧問である柴田紘一郎先生が、2025年2月19日の未明にご逝去されました。

柴田先生は若き日に長崎大学から派遣されケニアへ巡回医療に従事しましたが、その時代の思い出を元に、さだまさしは「風に立つライオン」という楽曲を作り上げました。やがて、その歌は医療に従事する人々や青年海外協力隊に参加してアフリカで頑張る人々の応援歌となりました。そうして、小説となり映画にもなり、ついに、当基金が設立されるに至りました。

正に、柴田先生なくしてこの基金が作られることはありませんでした。
ここに皆様にご報告差し上げると共に、心より御冥福をお祈り申し上げます。

「柴田紘一郎先生
本日未明にご逝去されました。
言葉になりません。
半世紀以上のお付き合いでした。
大好きな、素晴らしい兄貴でした。」 さだまさし



※さだまさし公式Instagramより

風に立つライオン基金とは

存在理由

我々は、小さな『志』の集合体です。

我々は、災害に苦しむ人を支援します。

我々は、ささやかで偉大な活動を行う人を応援します。

我々は、大切なひとの笑顔を守るための「平和」について考え、活動します。

一人一人の小さな思いが、沢山の小さな生命を支えられることを信じます。

「風に立つライオン基金」はその為の組織です。

2015年 夏 さだまさし

活動理念

1. 私たちは「いのち」や「平和」を守る為に奉仕活動や慈善活動をしている個人や団体に対し、細やかな援助をしていきます。
2. 私たちは大規模災害などで被災した方々に対し大きな組織では目の届かない場所や人へ、ささやかでもぬくもりのある支援をしていきます。
3. 私たちは金銭的、経済的な支援だけでなく、人的支援を行うための組織作り、人材育成を行います。

活動内容

1. 助成事業

国内外において「いのち」や「平和」を守るため支援活動や慈善活動を実践している個人、団体に助成し、偉大な志を支援する活動。

2. 災害支援事業

大規模な自然災害に被災し、心に痛手を負った人々へ物資や炊き出しを届け、慰問コンサートやチャリティイベントなどぬくもりのあるエールを届ける活動。

3. 顕彰事業

高校生のボランティア団体を顕彰する「高校生ボランティア・アワード」及び、日本国内外で公共の利益のために奉仕され社会に貢献された個人・団体を表彰する「風に立つライオン オブ・ザ・イヤー」。

4. 講演・イベント事業

有識者や著名人をお迎えした講演やチャリティイベントを開催し、参加者に笑顔と幸せを届け、活動を継続する募金を呼びかける。

「風に向かって立つライオンでありたい」

風に立つライオン基金は、国内外において「いのち」や「平和」を守るために奉仕活動や慈善活動を実践している個人・団体を支援しています。2024年度で助成事業は10期目を迎え、延べ80団体に120,909,168円の助成を実施しました。これからも、「風に立つライオン」の志を応援していきます。



一般社団法人 モザンビークのいのちをつなぐ会

国際医療／僻地医療／公衆衛生向上活動等

モザンビーク共和国 カーボデルガド州

モザンビーク北部テロ衣装被災者支援及び子ども公衆衛生活動

助成額 2,354,000円

モザンビーク北部で激化するイスラム過激派の紛争避難民が流入し、コレラ等感染症も流行するペンバ市にて、避難施設がなく水道を引いても水がでないエリアであるエスパンサオン地区に共同水場兼避難施設を整備。またペンバ寺子屋にて子ども公衆衛生活動を行い、紛争避難民とスラムの住民の健康と命を守る活動を実施した。



特定非営利活動法人 ジャパンハート

国際医療／僻地医療／公衆衛生向上活動等

ラオス人民民主共和国 ウドムサイ県

ラオス・ウドムサイ県病院における甲状腺疾患治療並びに、技術移転活動

助成額 1,384,000円

ラオス北部ウドムサイ県のウドムサイ県病院にて、日本人医師による手術活動を4回実施し、3名の現地外科医師への技術指導を行いながら、38名の甲状腺疾患患者の手術を実施した。また、日本人医師による内科診療指導活動を通じて現地内科医師2名の診察技術向上に努め、地域の甲状腺疾患患者の治療環境向上に貢献した。



特定非営利活動法人 DAREDEMO HERO

国際医療／僻地医療／公衆衛生向上活動等

フィリピン共和国 セブ州

周産期からの保健指導によって 貧困層の健康的な生活を作る事業

助成額 1,503,000円

2024年4月から2025年3月にかけて、セブ4地域において、妊娠・出産・育児に関する啓発セミナーと若年妊娠に関する啓発及び個別支援を実施した。地域保健指導員を含む400名超の女性に対して、専門家からセミナー形式で知識を提供し、周産期から新生児のケアに関する、適切な健康管理や家族への知識共有が地域で広がった。



一般社団法人 Think Locally Act Globally

国際医療／僻地医療／公衆衛生向上活動等

ブータン王国 首都ティンブー、チュカ県、シェムガン県

ブータン脳卒中後遺症患者への 農業リハビリテーション導入プロジェクト

助成額 1,631,000円

ブータンで初めてとなる脳卒中患者を対象とした農業リハビリテーションの導入を3県で進めている。脳卒中の理解促進研修や農業リハビリテーション研修、患者や家族がつくった野菜や花の販売イベント開催、京都大原記念病院関係者とともに「第1回日本ブータン農業リハビリテーションオンラインセミナー」開催などの活動を行った。



特定非営利活動法人 ISAPH(アイサップ)

国際医療／僻地医療／公衆衛生向上活動等

マラウイ共和国 ムジンバ県

「自分の健康は自分で守る」 住民による栄養改善活動の自立支援事業

助成額 2,196,000円

ムジンバ県エンディンデニ保健センター地域にある17のヘルスポストが管轄する40の村落のケアグループ（住民グループ）プロモーター21名およびリーダーら301名に地域栄養改善活動のノウハウを提供する研修を実施した。事業終了までに、12の地域すべてで自主的な栄養活動を実施していることを確認した。



特定非営利活動法人 エイズ孤児支援NGO・PLAS

平和や自然環境等を守る活動

ケニア共和国 ホマベイ郡

貧困家庭の養鶏による生計向上とキャリアプランニング支援事業

助成額 1,938,000円

ケニア共和国ホマベイ郡にて、貧困で取り残された家庭の子ども15名と保護者15名を対象に、カウンセラーによるカウンセリング支援と、養鶏による経済的自立のための研修、ヒナ配布、鶏舎の建設などの支援を届けた。家計が改善し、保護者が子どもの教育を応援できるようになり、親子に前向きな変化が生まれた。

海外支援（助成事業）



「風に向かって立つライオンでありたい」

風に立つライオン基金は、国内外において「いのち」や「平和」を守るために奉仕活動や慈善活動を実践している個人・団体を支援しています。2024年度で助成事業は10期目を迎え、延べ80団体に120,909,168円の助成を実施しました。これからも、「風に立つライオン」の志を応援していきます。



特定非営利活動法人 フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー-JAPAN

国際医療／僻地医療／公衆衛生向上活動等 ラオス人民民主共和国 ルアンパバーン県

バイオメディカルエンジニアチームの強化を図り、
ラオスの子どもたちを救う

助成額 2,220,000円

今回の助成金により必要な機器が購入でき、これらの機器を導入したことで、効率的に医療機器の安全点検をすることが可能となり、一度購入した機器をより長く安全に使用できるようになった。また、バイオメディカル・エンジニアがベトナムの病院及びラオ・フレンズ小児病院で初めて研修を受けることができ、技術力の向上を図ることができた。



シロアムの園

国際医療／僻地医療／公衆衛生向上活動等

ケニア共和国 キアンブ郡

ケニアの障がい児の食と栄養改善プロジェクト

助成額 2,532,000円

シロアム園に通園する障がい児54名が栄養状態良好で健康に日々の生活を送ることができるよう、管理栄養士派遣（食栄養調査、スタッフ研修、園内栄養委員会の立ち上げ、調理法の確立など）、スタッフによる家族への研修、スタッフの本邦研修を実施した。また、家庭で食材購入の安定を目指し、保護者の収入向上プログラムを実施した。



特定非営利活動法人 アクセプト・インターナショナル

平和や自然環境等を守る活動

イエメン共和国 マアリブ県

イエメン共和国マアリブ県における紛争の影響を受けた
若者に対するケア及びエンパワメント支援

助成額 2,070,000円

紛争が10年にわたって続くイエメンにおいて、前線に近く国内避難民の数が最多であり、特にニーズが高いマアリブ県で、紛争による障害を負った若者に向けて、定期的な医師による診察、心理ケア及び、職業訓練とライフスキルトレーニングを提供した。これらを通じ、対象となる若者に必要なケアへのアクセスを確保すると共に、彼らのエンパワメントに貢献することができた。



特定非営利活動法人 アイキャン

平和や自然環境等を守る活動

フィリピン共和国 マニラ首都圏

フィリピンの路上の子どもたちの予防と
早期介入の拡大展開準備事業

助成額 1,950,000円

マニラ首都圏で路上生活を送る若者55名をリーダーとして育成し、行政や企業など12機関との連携を構築した。育成した若者リーダーたちは路上の子どもを対象にした「勉強プロジェクト」などの自発的な活動も展開した。また、多機関との会議を通じて、路上の子どもたちの課題解決に向けた共同体形成への合意を得た。



（認定）特定非営利活動法人 国境なき子どもたち

国際医療／僻地医療／公衆衛生向上活動等

フィリピン共和国 マニラ首都圏

自立支援施設「若者の家」での特別な保護を必要とする
子どもたちの心理・医療ケアおよび教育・生活支援

助成額 2,271,000円

居住型施設「若者の家」において、虐待・育児放棄を経験した子どもなど、特別な保護を必要とする子どもたち22名を受け入れ、衣食住、教育、心理ケア、医療ケアを継続して行った。保護者が「若者の家」を訪問し、子どもたちとの時間を持ったり、保護者向けセミナーなどを実施し、事業期間中に4名が家庭に戻った。



特定非営利活動法人 HANDS

国際医療／僻地医療／公衆衛生向上活動等

シエラレオネ共和国 カンピア県

子どもから地域住民へと育む持続可能な栄養改善のしくみ作り

助成額 1,110,000円

対象校の全児童が1本のモリンガを自宅で育てるマイ・モリンガの活動により、児童が学校にモリンガ葉を持ち寄り、年中通して週2回モリンガ給食の提供が可能となった。また母親支援グループが、地域女性たちにモリンガ料理講習会やモリンガ粉末製造・貯蔵研修を行うことで、自宅でもマイ・モリンガを使ってモリンガ料理を喫食している家庭が増加した。

「ささやかでもぬくもりのある支援」を

2024年度は年明けに起きた能登半島地震に対して、当基金としてできる限りの支援を続けました。また、4月に発生した台湾花蓮震災に対しても義援金を贈呈、7月25日からの大雨で大きな被害が出た山形県と秋田県にも支援をいたしました。NPO団体への災害支援助成や学生ボランティアへの交通費の助成なども行いながら、継続的な物資支援に加えて、初めて長期に亘る「ライオンカフェ活動」を実施し、新しい支援の形を作ることができました。

令和6年能登半島地震および豪雨支援

2024年1月1日に発生した能登半島地震は、特に珠州市、輪島市に大変な被害をもたらし、地理的な要因もあって復旧に多大な時間を要することになりました。特に断水が長期化したこと、また地震の復旧事業が軌道に乗ってきたところで9月21日に起きた奥能登豪雨により、多くの場所で二重被災となり、地震以上の被害を受けた場所も多く発生してしまいました。物理的な被害だけでなく、心的な被災が大きい災害だったことは想像に難くありません。当基金としても、フェーズに併せて様々な試みを行い、できる限りの支援を継続しています。

災害支援活動助成金 能登半島地震第2回(総額4,833,820円)

対象団体／令和6年能登半島地震における災害救助法が適用された新潟県、富山県、石川県及び福井県の35市11町1村
(内閣府防災担当 令和6年1月1日時点)

団体名(支援活動地域)

- ・王子プロジェクト(石川県津幡町、かほく市、羽咋市、内灘町)
- ・オーロラブラック(石川県内)
- ・災害支援ゲキギ隊109(石川県津幡町、内灘町、羽咋市、七尾市)
- ・NGO災害救援チーム フェニックス救援隊
(石川県能登町、珠州市、七尾市、輪島市)
- ・一般社団法人ONE TEAM(石川県内灘町、羽咋市、七尾市、輪島市)
- ・災害支援OneTeam北陸(石川県内灘町、かほく市、羽咋市)
- ・TASUKE愛(石川県津幡町、羽咋市、内灘町)
- ・災害支援ゴンベえ(石川県輪島市)
- ・いしかわ災害支援機構(石川県輪島市)
- ・DRT JAPAN 栃木
(富山県氷見市、石川県七尾市、輪島市、珠州市、宝達志水町)
- ・特定非営利活動法人ユナイテッドかながわ(石川県七尾市)
- ・縁の下のもぐら(石川県輪島市)
- ・災害NGO結(石川県輪島市、能登町、七尾市)
- ・3.11石巻支援チームエース
(石川県珠州市、輪島市、七尾市、富山県高岡市)
- ・コミサボひろしま(石川県輪島市)
- ・災害NGOタビイク(石川県輪島市、能登町、七尾市)
- ・越乃結み組(石川県七尾市、穴水町)
- ・チームふじさん(石川県珠州市)



能登町役場で大森凡世町長に義援金300万円を贈呈

義援金：総額 40,000,000円(義援金のお届け日)

石川県珠州市	5,000,000円 (4月6日)
石川県輪島市	5,000,000円 (4月6日)
石川県能登町	3,000,000円 (4月15日)
石川県穴水町	3,000,000円 (4月15日)
石川県志賀町	3,000,000円 (5月10日)
石川県七尾市	3,000,000円 (5月10日)
石川県内灘町	3,000,000円 (5月10日)
富山県氷見市	3,000,000円 (5月10日)
石川県かほく市	3,000,000円 (7月3日)
和倉温泉観光協会	3,000,000円 (7月3日)
富山県高岡市	3,000,000円 (7月3日)
新潟県新潟市	3,000,000円 (7月4日)



穴水町役場に宮崎高裕副町長を訪ね義援金300万円を贈呈



■ さだまさし支援ライブ

4月6日、設立者のさだまさしが震災後初めて珠州市・道の駅「すずなり」と輪島市・キリコ会館前で支援ライブを行いました。各40分ほどの短い時間ではありましたが、どちらも500人ほどの方々がお集まりくださり、さだまさしが歌う代表曲に聴き入りました。ステージ上で、泉谷満寿裕珠州市長と坂口茂輪島市長に義援金の目録を手渡しました。

また、4月15日には珠州市の須須神社を皮切りに、能登清水の里穴水、旧久江小学校(中能登町)で相川七瀬さん、泉谷しげるさん、半崎美子さんと共に支援ライブを行いました。



珠州市 道の駅「すずなり」にて



同行された箭内道彦さん、坂口茂市長と飛び入り参加の野口健さん



4月15日、須須神社社殿前にて、支援ライブ

■ 炊き出し

4月6日 珠州市・道の駅「すずなり」
出店／8番ラーメン、チャンピオンカレー

4月6日 輪島市・キリコ会館前
出店／レストランピーター、タルトタ、チャノキカナザワ、Bond&Justice

※協力／ANAフーズ、キョードー北陸、災害時女性支援プロジェクト、サウンドソニック、石川県立津幡高等学校、ピースボート災害支援センター、フェニックス救援隊、ブランドル飯田、ベストアグリフーズ、BOSAI Edulab



道の駅「すずなり」前では、石川県の2大ソウルフード「8番ラーメン」と「チャンピオンカレー」の炊き出し

■ カット野菜支援

2024年1月後半から、断水が続く地域の支援として、炊き出しや自宅避難の方々のために、金沢市のベストアグリフーズさんのご協力によりカット野菜をはじめとする食材を提供。2025年3月までトータルで33,000食以上の食材を支援してきました。

災害NGO結(敬称略、以下同)をはじめ、NPO法人リエラ、日本食育HEDカレッジ、被災地NGO協働センター、Bond&Justice、ピースボート災害支援センター、OPEN JAPANなど、多くの団体が発災直後から珠州市、輪島市、七尾市、能登町などで延べ400回を優に超える炊き出しを続けてくださいました。この支援を通じ当基金としても様々な団体との繋がりができ、いろいろ勉強になることも多くありました。



■ チャリティーコンサート

さだまさしがお声がけをして多くのアーティストが能登半島支援のために集まり、2回のチャリティーコンサートが実現しました。



名古屋国際会議場センチュリーホール楽屋にて

4月19日 「がんばれ能登 緊急支援チャリティーコンサート」
名古屋国際会議場センチュリーホール

出演／泉谷しげる、河井勇人、グレープ、さだまさし、サンドウィッチマン、
スターダスト☆レビュー、南こうせつ、森山良子、山崎まさよし
総額／14,871,947円

※この内1,200万円を、石川県かほく市、和倉温泉観光協会、富山県高岡市、新潟県新潟市に各300万円ずつ義援金として贈呈（P7参照）。残りを被災地で活動するNPO団体などへの活動支援金として活用いたしました。



ハビネスアリーナで行われたチャリティーコンサートのエンディング

10月19日「Japanet presents ハビネスアリーナこけら落とし
さだまさしチャリティーコンサート 長崎から、能登へ!」

出演／岩崎宏美、グレープ、ゴスペラーズ、さだまさし、スガシカオ、水谷千恵子
総額／24,292,737円

※当基金は、この内1,500万円を預かり、輪島塗関連6団体に1,000万円、珠洲焼創炎会に500万円を贈呈しました。残りは、ナガサキピーススフィア員の火運動を通じて、珠洲市、輪島市、能登町、穴水町、七尾市、志賀町、石川県の教育委員会に贈呈されました。

■ 活動支援金

2025年1月13日、上記「さだまさしチャリティーコンサート 長崎から、能登へ!」で寄せられた総額24,292,737円をお届けすることと、復旧・復興が遅れている被災地に改めてエールを送るため、ジャパネットホールディングス代表取締役社長兼CEOの高田旭人さんと共に、珠洲市と輪島市を訪れました。今回は、地域の文化や伝統工芸を守るために使っていただこうと、珠洲市は珠洲焼創炎会に支援金として500万円を、輪島市は輪島塗関連6団体に総額1,000万円をお届けし、技術の伝承と後継者の育成に役立てていただくことにしました。初めに伺ったのは、珠洲市陶芸センター。珠洲焼創炎会の篠原敬会長と会員の皆さんが歓迎してくださいました。



高田旭人さん（左から2番目）と珠洲焼創炎会の皆さんに陶芸センターで面会

次に、10月19日に行われたチャリティーコンサートのダイジェスト映像を市民の皆さんにご覧いただいているラポルトすずへ。同行された高田旭人社長からは、年末にお贈りいただいた支援品の目録が泉谷市長に手渡され、会場に集まった皆さんにも温かいメッセージをいただきました。さだから吉木充弘教育長に「子どもたちの笑顔を守るために」ということで、ナガサキピーススフィア員の火運動を代表して支援金125万円の目録をお渡しし、最後に1曲だけ「いのちの理由」を歌い、集まった方々にエールを送りました。



ラポルトすずにて、泉谷市長、吉木教育長を交え会場の皆さんと記念撮影

輪島市では輪島中学校の体育館で、ラポルトすず同様にパブリックビューイングが行われていて、上映終了後に、輪島塗関連6団体の皆さんや輪島市の坂口茂市長、小川正教育長にそれぞれ目録を手渡しました。



輪島塗関連6団体のそれぞれの代表に目録を手渡す

さだまさしはステージ上で「ここに来る前に朝市の辺りも見せていただきましたが、4月に来た時にはまだ手つかずだった所が更地になっていて、前に向かってやり直そうという気持ちになっていると感じ、逆に僕らが勇気をもらいました」などと話し、最後に「いのちの理由」を歌って集まった市民の皆さんにエールを送りました。



■ ライオンカフェ

ライオンカフェは、災害で通常の生活ができなくなった方々の「心のケア」を目的として、仮設住宅の集会所や地域の公民館などをお借りして、猿田彦珈琲さんのご協力をいただきながら、ドリップ教室や落語会などを行っている取組です。ストレスfulな日々少しでもホッとできる時間と空間を提供しようということで様々な場所で行っています。



TSUKEMENの皆さんから「コンサートツアーで集めた募金を能登半島に送りたいのでご協力いただけないか」とご相談いただき、ライオンカフェとしてミニライブを開催（中学の吹奏楽部とコラボレーション）



輪島市ふれあいプラザ二勢にて、二つ目の柳家小太郎さんによる落語会



珠洲市若山小学校多目的室にて、柳家一琴師匠による落語会

- | | |
|----------|---|
| 6月16日 | 能登町立能都中学校 with TSUKEMEN |
| 7月 5日 | 輪島市ふれあいプラザ二勢 健康相談
／チャノキカナザワ（クレープ） |
| 7月 6日 | 輪島市ふれあいプラザ二勢 落語会（柳家小太郎）
／キッチンカー縁宝（肉まん） |
| 7月 7日 | 輪島市河井第4団地談話室 健康相談／チャノキカナザワ |
| 7月 8日 | 輪島市宅田第1団地仮設住宅談話室 落語会（柳家小太郎）
／チャノキカナザワ |
| 7月11日 | 珠洲市蛸島第1仮設住宅集会所 落語会（柳家一琴） |
| 7月12日 | 珠洲市蛸島第4仮設住宅集会所 落語会（柳家一琴） |
| 7月12日 | 珠洲市若山小学校多目的室 落語会（柳家一琴） |
| 7月13日 | 珠洲市生涯学習センター お茶会 |
| 7月19日 | 能登町まつなみ第1団地集会所 落語会（柳家一琴） |
| 7月19日 | 能登町ふじなみ第1団地集会所 落語会（柳家一琴） |
| 7月20日 | 珠洲市役所駐車場 お茶会 |
| 8月11日 | 能登町役場
お茶会（二十歳のつどい） |
| 11月9・10日 | 輪島市WAJI@BASE
お茶会 |



能登町役場にて「二十歳のつどい」でライオンカフェ



珠洲市役所にて、日本フーズパートナーズさんが無償で貸与してくださったキッチンカーを使ったライオンカフェ

■ みんなのライオンカフェ

11月から12月にかけて、また1月から2月にかけて、輪島市と珠洲市で約1ヶ月ずつ「みんなのライオンカフェ」と題した長期のサロン活動を行いました。災害によって失われたコミュニティを再生する一助になればという思いで、単発のライオンカフェではカバーできない「気ままにふらっと立ち寄れる居場所」の提供を目指しました。

輪島ではJVOAD(全国災害ボランティア支援団体ネットワーク)さんのご紹介でトレーラーハウスを一ヶ月間無償でお借りし、珠洲市では健康増進センターの三上所長にお世話になって化粧品店の販売店をお借りすることができ、市民の皆さんに大変ご好評をいただきました。



1/21～2/2、2/7～2/20珠洲市のノエビア化粧品販売店をお借りしてライオンカフェを開催



11/21～12/20 輪島市文化会館関係者駐車場にてトレーラーハウスによるライオンカフェ



クリスマス前に飾り付けられたイルミネーション(当基金からクリスマスツリーを贈呈)

ライオンカフェには近所の仮設住宅などだけでなく、ボランティア団体の方々も集い、地元のボランティアチーム「わじまミラクルズ」が中心となり、旧輪島駅の「ふらっと訪夢」にイルミネーションを飾り付けたり、復興に向かう様々なアイデアも話し合われる場となりました。

特に輪島市では終了を惜しむ声が続出し、住民の方々が場所探しを含めて自主的に運営して下さることを条件に、当基金が賃貸料(月額3万円)と珈琲やお菓子などを提供して2月から4月まで継続しました。



2/13～4/15 元々、珈琲豆の販売店(ミル珈琲店)兼住居だった建物をお借りして、地域住民の方々が主体となってライオンカフェを運営

※協力／訪問看護ステーション海風、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク、トレーラーハウス設置検査機構、サウンドソニック、猿田彦珈琲、輪島市産業部、輪島市観光協会、有明支線会、わじまミラクルズ、日研通商、チームふじさん、王子プロジェクト、谷隆氏、竹林正浩氏、三上豊子氏

■ 学生ボランティア

一般社団法人BOSAI Edulabが企画した「ユース災害ボランティア基金」への助成という形で、全国の学生ボランティアをサポートしました。学生たちの宿泊場所の提供と宿泊場所から活動場所へバスの手配をして、輪島市社会福祉協議会からのニーズを受けて7月～8月、11月、3月の3回に分けて合計87名の学生を輪島市に派遣しました。また、9月10日～13日には、7月の大雨で大きな被害を受けた山形県酒田市の依頼を受けて、学生を派遣すると共に当基金の事務局スタッフも住居の泥掻き作業に従事しました。



輪島市での活動



山形県酒田市での活動

- ・7月27日～8月31日
石川県輪島市
- ・9月10日～13日
山形県酒田市
- ・11月2日～24日
石川県輪島市
- ・3月6日～27日
石川県輪島市

■ 物資支援

珠洲市小泊地区にある特別支援部隊「山(やま)ん」さんに、飲料水やレトルト食品の支援をしました。ほとんど報道されていみせんでしたが、同地区は夏場になっても水道が復旧しきれておらず、飲料水にも事欠いていたため、7月から年明け1月まで支援いたしました。

飲料水2L・500mlペットボトル	20,000本
無印良品レトルト食品	1,000食



非公式の避難所や自宅避難者への支援物資を配布していた「山ん」

■ 重機の貸出

災害現場では様々な重機が活躍していますが、特に大雨災害時の泥掻きなどで狭い場所に入れる小型の重機が重宝されるそうです。ところが、大地震に続けて広範囲で災害が続くため、絶対数が足りなくて困っているという話を聞き、当基金でもいろいろな団体に使っていただけるような重機を一台購入いたしました。早速、輪島市町野町や珠洲市大谷町などで活躍しています。今後も少しずつ買い足して、いざという時に備えていきたいと思っています。



珠洲市大谷町にて

■ 令和6年7月25日からの大雨災害支援

令和6年7月25日からの大雨により大きな被害が出た秋田県と山形県に対し、以下の支援を行いました。

■ 活動支援金:総額1,200,000円

- ・秋田県社会福祉協議会
- ・由利本荘市災害ボランティアセンター
- ・にかほ市災害ボランティアセンター
- ・上小阿仁村災害ボランティアセンター



秋田県社会福祉協議会にて支援金の目録と、さだまさしのメッセージを贈呈

山形県には様々な関係者から情報を収集し、支援金や物資の提供よりもボランティアの人手が足りないということで、特に被害の大きい酒田市への学生ボランティアを派遣。9月10日から13日の4日間、酒田市青沢地区、常善寺地区で主に泥かきやゴミの運搬などを事務局スタッフも同行してお手伝いしました。

■ 暖か支援品

山形県酒田市の要請を受け、2024年末に、223世帯に総額1,786,691円の寝具や暖房器具を贈呈

支援品一覧	品名	世帯数
	掛け布団	74
	電気カーペット	47
	ファンヒーター	20
	布団乾燥機	43
	極厚カーペット	39

※5品の中からご希望を伺い、可能な限りご希望に添う形で購入してお送りしました。

■ 災害支援助成金 令和6年山形県酒田市・遊佐町並びに能登半島豪雨災害(総額5,527,000円)

対象団体／令和6年7月25日に災害救助法が適用された山形県酒田市と遊佐町、令和6年9月21日に災害救助法が適用された奥能登地域の6市町(輪島市、珠洲市、七尾市、能登町、穴水町、志賀町)

団体名(支援活動地域)

- ・千葉南部災害支援センター(石川県珠洲市、輪島市、七尾市)
- ・星の和っかの向こうに(石川県能登町)
- ・Project Ds(石川県輪島市)
- ・DRT JAPAN 栃木(山形県酒田市、遊佐町)
- ・子ども食堂 ほし組フレンズ(石川県輪島市)
- ・NGO災害救援チーム フェニックス救援隊(奥能登、七尾市)
- ・災害支援TEAMねこのて3426(山形県酒田市、遊佐町、石川県輪島市、志賀町)
- ・TASUKE愛(石川県珠洲市、輪島市、能登町、七尾市)
- ・災害支援 信州上田重機隊(石川県輪島市)
- ・Five_up_SENDAI(山形県酒田市、石川県輪島市)
- ・災害NGOタビク(山形県酒田市、石川県輪島市、能登町)
- ・災害支援団体's(石川県輪島市)
- ・日本食育HEDカレッジ(石川県珠洲市)
- ・LOVE EAST(石川県輪島市)
- ・Jump(山形県酒田市、石川県輪島市、能登町)
- ・風組関東(石川県輪島市)
- ・災害NGO海(山形県酒田市、石川県輪島市)
- ・Learning Crisis研究会(石川県輪島市)

■ 海外支援 台湾花蓮地震支援

2024年4月3日に台湾花蓮県東方の沖合で発生した大地震で被災された方々を支援するため、衛生福利部(省)が所管する「財団法人賑災基金会」に義援金1,000万円を贈呈しました。

冷暖房が完備され清潔でプライバシーにも配慮された快適な避難所が発災から2～3時間で設営され、バラエティに飛んだ食事や各種サービスが用意されるなど、日本も学ぶべき点が多いと話題になりましたが、官民連携の必要性を改めて感じた災害でもありました。参考にすべき点は大いに取り入れて、今後の災害に備えていきたいと思っています。



謝長廷代表に義援金の目録をお渡しするさだまさしと理事長の古竹孝一

高校生ボランティア・アワード2024

「高校生ボランティア・アワード2024」が、2024年8月6日・7日の2日間、新宿住友ビル三角広場で開催されました。過去最多152団体のエントリーから6月のオンライン活動発表交流会を経て、88団体がブース発表団体として選出され、この日全国から集まりました。1団体あたりの参加人数も過去最多を更新して20人以上という団体が複数ありまし、遠方からも大挙して参加してくださったおかげで、参加総数が例年を上回り、会場はのっけから大盛り上がり。

司会の川島アナウンサーがオンラインの予選会にも参加してくださったこともあり、参加生徒の皆さんも安心感があつたのではないかと思います。「みなさん、元気ですかー!」と高いボルテージで川島さんが呼びかけると、一斉に「イエー!」と何十倍も元気な反応が返ってきました。端から楽しんでいる高校生たちの姿が印象的でした。



ブース発表

大会委員長のさだまさは、「若い力が嬉しいね。この人たちは何がすごいって、全員が誰かの役に立たないかと思っている人たちなんです。同じ志の人たちが手を携えて、同じ方向へ向かって協力していく流れが過去のボランティア・アワードで起きていますので、今年も期待したいですね」と一言。さらに西日本豪雨に際して岡山県総社市の中高生たちが立ち上がり、苦境にあった地元を助けたことを引き合いに「中高生は社会を変えていく力があります。今日明日楽しみにしています」とエールを送りました。

参加校を代表して、広島県立広島観智学園高等学校でれこみの四登智規(しのぼり)ともきさんが力強い開会宣言をしてくれました。

ブース発表大会は、時間制限や事前登録制にしたものの、コロナ禍以前の一般来場者を受け入れる形に戻しました。高校生同士の交流メインの時間も両日1時間ずつ残しつつ、外向けの発表メインの時間と分けることにより、それぞれに違う経験値を積むことができたのではないかと思います。

16時20分にブース発表大会が終わると、昨年と同じく交流会の時間となりました。お互いのブースを訪問したり、名刺交換をしたり、一緒に新しいプロジェクトを立ち上げる約束をしたり、参加した高校生たちそれぞれが自由に過ごす中で、自然発生的に化学反応が起きることを期待しながら、緩やかな時間を過ごしてもらいました。

2日目は午前中にシンポジウム、午後からは初日に引き続きブース発表大会。事前登録された一般の方、クラウドファンディングでこの大会にご寄付くださった方、学校関係者の方々、協賛各社の方々など、多くの方が高校生たちにエールを送るためにご来場くださいました。

応援団のテツandモのお二人、ももいろクローバーZの高城れにさん、泉谷しげるさんもブースを熱心に見てくださいました。

自分たちの活動を一所懸命に伝えようとする高校生たちの真剣な眼差しと、熱い思いに来場者の皆さんは圧倒されたと言ってお話くださいました。



エントリー数	152団体
参加数	88団体
発表活動交流会 (予選大会)	各参加団体3分間のプレゼン+質疑応答。 同グループの団体の投票+事務局審査により、 全国大会へ88団体選出
全国大会1日目 8月6日(水)	ブース発表と高校生同士の交流。
全国大会2日目 8月7日(木)	シンポジウム有識者を交え意見交換・質疑応答、 ブース発表・特別表彰式。

大会ロゴマーク

テーマ：「共に生きる未来」 応募数：231点



最優秀作品

岐阜県立多治見工業高等学校
中村優希 (なかむら ゆき) さん



シンポジウム

参加高校生全員が参加するシンポジウムが開催されました。

冒頭、今回のテーマ「共に生きる未来」について、スペシャルナビゲーターの鎌田實(かまた みのる)先生から、「今が大事だし、未来が大事、つながりをどう作っていくのがすごく大事だと思います。そんなお話が聞きたい」とシンポジウムに向けての期待をお話いただきました。



パネリスト

今年のパネリストは、災害NGO結(ゆい)代表の前原土武(まえはら とむ)さん、小児科専門医・新生児指導医の寺澤大祐(てらざわ だいすけ)さん、俳優・富田望生(とみた みう)さん、国境なき医師団プロジェクトコーディネーターの李亘(いくん)さんの4人をお迎えしました。

「自分の生きる力を普段の暮らしの中、遊びの中で育てていくことが共に未来を生きる力になると思う」(前原土武さん)

「自分の足で歩けば未来は開けていく、誰かを頼れば必ず誰かが助けてくれる。生きていることは、実は偶然の積み重なり」(寺澤大祐さん)

「その都度出会う人を大切にすること、出会うセンサーはとても大切だと思う」(富田望生さん)

「遠くにいる人達も共に生きている、もしかしたら未来のどこかで出会うかもしれない、そんな意識を少し持ってもらえるといい」(李亘さん)



特別表彰式

例年同様、最後の締めくくりは特別賞の表彰式と閉会式です。過去最多の21の特別賞が用意されました。最後の最後に、ゲスト応援団がパフォーマンスのプレゼント。高校生たちに精一杯のエールを送ってくださいました。熱い夏の二日間が幕を閉じました。



オブザーバー



諏訪中央病院 名誉院長
当法人評議員
鎌田 實

パネリスト



国境なき医師団
プロジェクトコーディネーター
李 亘 (いくん)



小児科専門医
新生児指導医
寺澤 大祐
(てらざわ・だいすけ)



俳優
富田 望生
(とみた・みう)



災害NGO結代表
前原 土武
(まえはら・とむ)

応援団



泉谷しげる



高城れに
(ももいろクローバーZ)



テツandモ

司会



フリーアナウンサー
川島 葵

※五十音順・敬称略

主催：公益財団法人 風に立つライオン基金
後援：文部科学省／NHK厚生文化事業団／東京都／全国社会福祉協議会
特別応援：特定非営利活動法人 国境なき医師団日本／日本赤十字社
スペシャルサポート：三菱UFJフィナンシャル・グループ

※協賛社は17ページに掲載 ※順不同・敬称略



大会ダイジェスト



AMDA兵庫代表・江口貴博氏(左)、チームふじさん代表・藤野龍夫氏

「風に立つライオン・オブ・ザ・イヤー」贈賞式

12月6日(金)東京・内幸町の日本記者クラブで、「風に立つライオン オブ・ザ・イヤー2024」の贈賞式を行いました。柴田紘一郎賞は「AMDA兵庫」、鎌田實賞は「チームふじさん」にそれぞれお贈りしました。

「風に立つライオン基金」が、支援活動や奉仕活動を実践する個人・団体を表彰するものです。

同賞は、日本国内外で命や平和を守るために支援活動や奉仕活動を実践する個人・団体を顕彰することで、その意義のある活動が広く認知され、より多くの支援・協力が集まり、活動が更に発展していくことを期待します。個人の善意に端を発したささやかな活動が、多くの人々の命や生活を支え、様々な社会課題の解決につながる大きな流れとなるよう、応援していきたいと思ひます。

柴田紘一郎賞と鎌田實賞(各1件)

正賞 腕時計

副賞 200万円

※毎年開催。募集は通年にわたり随時行われ、秋頃に表彰式を開催予定。



グランドセイコー SBG279

AMDA兵庫代表・江口貴博氏

小学校6年生の頃からさださんのファンで、ファースト・アルバムの『帰去来』に入っている「第三病棟」を聴いて以来、将来こういう子どもを救わなければいけないと思って、さださんのCDやトークを聞きながら受験勉強を頑張って医者になりました。そして、さださんのボランティア精神を追い掛けてここまで来ました。この賞は、これからの医療支援に繋げるための叱咤激励だと思っていますので、これを糧に今後も頑張っていきたいと思ひます。

チームふじさん代表・藤野龍夫氏

この一年を振り返りますと、2024年の1月2日から能登に入ってから本日も仲間が活動してくれていますが335日、延べ人数で言うと2943人が活動してくれています。浸水にあったエアコンや冷蔵庫などの家電製品を使えない物として処分されている方が多いですが、8割以上は直ります。我々のようにリタイアした技術者が直していきますので、それを広めていきたいと思ひます。この荣誉ある賞は、今後のそういう活動へのエールだと思ひます。そして、鎌田先生の功績に一步でも近づけるように頑張っていきます。



総評を語るさださんと鎌田實先生

■ 対象者・分類

- 日本国内外で5年以上、以下の活動に従事している日本人個人及び日本の団体
1. 医療や公衆衛生の向上等を目的とする活動
 2. 平和や自然環境等を守る活動
 3. 大規模災害の復旧支援を行う活動
 4. その他、当基金で対象として相応しいと認めた活動

■ 審査基準

1. 活動に対する熱意
 2. 地域への貢献度
 3. 社会的なインパクト(影響力など)
 4. 継続性
- などを指標として、多方面から審査

能登半島支援

長期に亘った能登半島支援では、風の専門団、奉仕団、ユースの方々に活動していただきました。



ふれあいプラザ二勢

7月 5日	輪島市ふれあいプラザ二勢	健康相談会
7月 6日	輪島市ふれあいプラザ二勢	落語会
7月 7日	輪島市河井第4団地談話室	健康相談会
7月 8日	輪島市宅田第1団地仮設住宅集会所	落語会
7月 11日	珠洲市蛸島第1仮設住宅集会所	落語会
7月 12日	珠洲市蛸島第4仮設住宅集会所	落語会
7月 12日	珠洲市若山小学校多目的室	落語会
7月 13日	珠洲市生涯学習センター	お茶会
7月 19日	能登町まつなみ第1団地集会所	落語会
7月 19日	能登町ふじなみ第1団地集会所	落語会
7月 20日	珠洲市役所駐車場	お茶会
8月 11日	能登町役場	お茶会
11月 9日	輪島市WAJI@BASE	お茶会
11月10日	輪島市WAJI@BASE	お茶会
11月23日	輪島市トレーラーハウス	健康相談会
11月24日	輪島市トレーラーハウス	健康相談会
12月12日	輪島市トレーラーハウス	健康相談会
12月13日	輪島市トレーラーハウス	健康相談会
12月14日	輪島市トレーラーハウス	健康相談会



トレーラーハウス

風の会員募集

風の団

	会員種別	年会費
専門団 医療系資格などの専門技術を活かす	個人	1万円
	法人	1万円
奉仕団 キャリアやその他の持てる力を活かす	個人	1万円
	法人	1万円
支援団 会費によって風の団の活動を支える	法人	1口10万円
	特別法人	3口30万円～

風の団・風に立つライオン・ユース 活動報告

2024年8月6日(水)7(木)「高校生ボランティア・アワード2024～共に生きる未来～」大会運営ボランティアスタッフとして、風の専門団(医師・看護師)・風に立つライオン・ユース(大学生)の皆さんが大会サポートをしてくださいました。受付業務、誘導、会場内の巡回、お弁当の配布、高校生からの様々な質問にも対応していただきました。



ライオン・ユースの皆さん

風に立つライオン基金プラットフォーム (スマートフォンアプリ)

※品質向上、機能改善を図るため開始時期を延期

全国の様々な問題を解決するため、災害時に支援を必要としている人々に対し迅速かつ適切な支援を届けるための情報発信・共有の場として、現在スマートフォンのアプリとして「風に立つライオン基金・プラットフォーム」を新装中です。2025 年度夏頃から試験運用予定。スマートフォンで手軽に操作をしていただけます。風に立つライオン基金からの最新のお知らせや活動報告なども随時配信してまいります。

風に立つライオン・ユース

学校や活動分野の垣根を超えて、自由で活発な交流をしながら切磋琢磨していきます。

会員種別	年会費	対象
個人	無料	学生および学生会員から継続している社会人(30歳まで)
認定校	無料	校内団体(※学級単位では不可)

会員登録はこちら



法人・団体とのパートナーシップ

法人や団体のみなさまの特徴や製品を活かした協働により、支援の輪と可能性を大きく広げることができます。
みなさまがこれまで培われた優れたスキルやノウハウで、ささやかで偉大な志を共に応援していくため、
ぜひお志を共に歩んでくださいますと幸いです。

法人会員になって応援

企業・団体として風の団の支援団としてご登録いただき、会費によって、風に立つライオン基金や風の団の活動をサポートいただいております。
会員特典として、感謝状や感謝盾の贈呈および、ホームページや年次報告書等に企業・団体名を掲載させていただきます。

イベント協賛で応援

高校生ボランティア・アワードやさだまさしチャリティ・コンサートをはじめ、当法人が主催するイベントへの協賛を広く募集しています。新たな企画アイデアも、ぜひ一緒に創りあげていきましょう。

■ 高校生ボランティア・アワード2024協賛各社



寄付で応援

頂いた寄付金や寄贈品を追い風にして、災害時などに支援を必要とする方々や偉大な志の活動へ支援の輪を広げていきます。

※当法人への寄付金は、特定公益増進法人に対する寄付金として、法人税法上の損金算入限度額が通常の損金算入限度額とは別枠で認められます。限度額は、その法人の資本や所得の金額によって異なります。詳しくは、ホームページをご確認ください。



寄付はこちら

2024年度のパートナーシップ

■ 「富士通レディース2024」チャリティ

2024年10月13日(日)に、千葉市にある東急セブンハンドレッドクラブにおいて日本女子プロゴルフ協会公認のトーナメント「富士通レディース2024」の最終日が開催されました。

大会を通じて収益金の一部を、富士通株式会社様より当基金が行う能登半島地震・豪雨災害支援のための資金としてご寄付いただきました。表彰式に常務理事の早野秀之が伺い、代表取締役社長CEOの時田隆仁様より目録を受け取りました。

ご寄付合計額 16,581,020円



ご支援くださった法人のみなさま



多くのみなさまの支えにより、活動が続けることができます。
ご支援くださったみなさまへ、心より感謝を申し上げます。

風の団支援団

■ 特別法人会員



有限会社 勇不動産コンサルタント

■ 法人会員

アートレイクゴルフ倶楽部 丸松興産株式会社
医療法人社団亀生会 丹生クリニック
株式会社ビッグ・ハンズ大分
たちばな書道会
東海理研株式会社

ご寄付



※10万円(相当)以上のご支援を頂いた法人・団体のみなさまを、敬称略・五十音順で掲載させていただいております。

風に立つライオン基金の活動は、みなさまの温かなご支援により支えられています。
頂いた寄付金や募金・会費・協力を追い風にして、必要とする方々や偉大な志へ支援の輪を広げていきます。

会員になる

【風の団】 基金が運営する支援組織に登録していただき、要請に応じて被災地支援などの活動にご参加いただく会員です。医療系資格などの専門技能を活かして活動していただく「専門団」と、専門資格を必要としない「奉仕団」、会費によって風の団の活動を支える「支援団」があります。

※詳しくはP16「風の団の会員募集」をご確認ください。

継続的に寄付する

月々1,000円から、クレジットカードによりご支援いただけます。



寄付はこちら

今回のみ寄付する

クレジットカードもしくは銀行振込によりご支援いただけます。

遺贈・相続財産で寄付する

風に立つライオン基金は、いのちといのちをつなぎます。わたくしたちの活動にご理解・ご支援くださる方々が年々増えており、遺贈や相続財産のお問い合わせも沢山いただくなりました。託していただいた故人および相続人の方からのお志を、次世代の支援を必要とする方々へ繋いでゆきます。ご遺言によるご寄付や、相続された遺産からのご寄付等は相続税の優遇を受けることができます。

※資料をご希望の際は、事務局までお問い合わせください。



寄付金控除・領収書について

風に立つライオン基金は、内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当法人へのご寄付は寄付金控除等の税の優遇措置(減税)を受けることができます。確定申告を行うことで、個人の場合は寄付額に対して最大40～45%が還付されます。詳しくは、当法人ホームページをご確認ください。

これまでご支援いただいたご寄付のご報告

	支援人数	支援金額
第十期(2024年度)	7,611 人	82,007,717 円
第九期(2023年度)	8,694 人	163,513,839 円
第八期(2022年度)	6,763 人	58,575,256 円
第七期(2021年度)	6,174 人	83,805,622 円
第六期(2020年度)	6,845 人	136,190,466 円
第五期(2019年度)	2,635 人	45,472,959 円
第四期(2018年度)	2,393 人	55,306,226 円
第三期(2017年度)	1,683 人	28,956,869 円
第二期(2016年度)	1,646 人	52,278,107 円
第一期(2015年度)	689 人	68,871,580 円
累計	45,135 人	774,982,638 円

※2025年3月31日までの集計です。
※コンサート、イベント会場等でいただいた募金は支援金額のみ加算しており、支援人数には反映していません。
※各期は、4月1日～3月31日となります。(第一期のみ、2015年8月10日～2016年3月31日)

グッズを買って応援する

風に立つライオン基金のオリジナルグッズやコラボレーション商品をご購入いただくことで、手軽に応援いただくことができます。環境や人道負荷が少ない商品や、裏側にある生産者が紡ぐストーリーへの共感が社会貢献につながる世界を目指しています。企業や団体のみなさまからのコラボレーションのご提案もお待ちしています。



グッズ購入はこちら



折りたたみ電動アシスト自転車
「eco★ペダル」
(カーコンビニ倶楽部株式会社)



さだ彦珈琲のカフェオレのもと
さだ彦珈琲のコーヒーゼリー
(猿田彦珈琲株式会社)



10th記念Tシャツ



10th記念ステッカー



オリジナル防災巾着



オリジナルワッペン

風に立つライオン放送局



公式YouTube「風に立つライオン放送局」では風に立つライオン基金の活動やささやかで偉大な志の想いなどを発信しています。チャンネル登録とお気に入り動画へのいいねをよろしくお願いいたします。



風に立つライオン放送局
公式YouTube



風に立つライオン基金ヒストリー
～設立のきっかけとあゆみ、
これからについて～



高校生ボランティア・アワード
2024
大会ダイジェスト映像

メディア掲載情報

TV

テレビ朝日「グッド!モーニング」
テレビ朝日「サンデーLIVE!!」
TBSテレビ「THE TIME」
フジテレビ「めざまし8」
フジテレビ「LiveNews イット!」
日本テレビ「Oha4!NEWS Live」
日本テレビ「ZIP!」
日本テレビ「news every」
読売テレビ「す・またん!」
名古屋テレビ「ドデスカ!Dようびデス。」
MRO北陸放送「MROニュース」
HAB北陸朝日放送「ふむふむ」
NHK金沢「かがのと」

新聞

伊勢新聞 北國新聞
大分合同新聞 長崎新聞
北日本新聞 新潟日報
京都新聞 日本海新聞
神戸新聞 日本教育新聞
佐賀新聞 山梨日日新聞
千葉日報 琉球新報
中日新聞 東奥日報
福井新聞 サンケイスポーツ
福島民報 スポーツ報知

Web

NHK 石川NEWSWEB
読売新聞オンライン
TBSNEWSDIG
テレビ長崎WEB
中日新聞WEB

ライオン新聞 設置ポイント募集中

日本のどこか、世界のどこかで、誰かのために頑張っている人にスポットをあてます。基金の活動報告や告知情報を掲載した季刊紙「ライオン新聞」をさだましコンサート会場や全国の公式設置ポイントにて配布を行っています。「ライオン新聞」の公式設置ポイントを募集しています。公式設置ポイントとして新聞を受け入れていただく場合、「公的施設・商店・飲食店」など一般の方が立ち寄れる場所であること、「風雨を避けられる場所であること」などの条件がございます。ご希望の方は、ホームページのお申し込みフォームよりお申し込みくださいませ。



公式設置ポイント
お申込フォーム



当法人では、公正で開かれた活動を推進するため、定款、事業計画、収支予算、事業報告、決算報告、貸借対照表などすべてをホームページに公開しています。



正味財産増減計算書

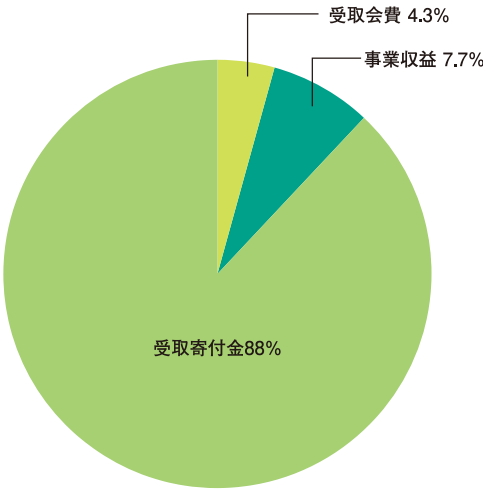
経常収益	基本財産運用益	0
	特定資産運用益	0
	受取会費	6,124,900
	事業収益	10,860,140
	受取補助金等	0
	受取負担金	0
	受取寄付金	124,666,634
	物品受贈益一般	0
	雑収益	54,352
	経常収益計	141,706,026
経常費用	事業費	202,677,332
	管理費	22,432,886
	経常費計	225,110,218
当期経常増減額		△83,404,192
棚卸資産廃棄損		523,336
法人税等		220,000
当期一般正味財産増減額		△83,100,856
一般正味財産期首残高		205,957,024
一般正味財産期末残高		122,856,168
指定正味財産期末残高		0
正味財産期末残高		122,856,168

※2024年4月1日から2025年3月31日まで(単位:円)

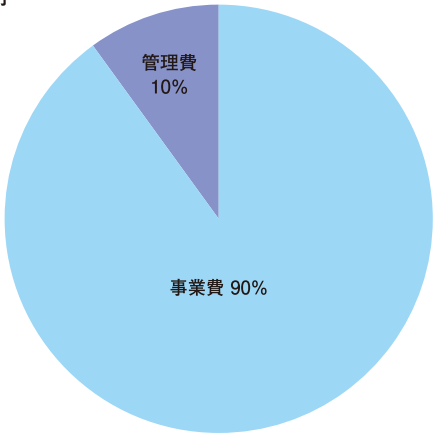
貸借対照表

資産の部		当年度	前年度
流動資産	現金預金	13,506,732	106,546,698
	その他流動資産	2,003,799	2,617,158
	流動資産合計	15,510,531	109,163,856
固定資産	基本財産	0	0
	特定資産	100,000,000	100,000,000
	その他の固定資産	13,593,559	6,396,823
	固定資産計	113,593,559	106,396,823
資産合計		129,104,090	215,560,679

経常収益



経常費用



負債の部	当年度	前年度
流動負債	6,247,922	9,603,655
固定負債	0	0
負債合計	6,247,922	9,603,655

正味財産の部	当年度	前年度
指定正味財産	0	0
一般正味財産	122,856,168	205,957,024
正味財産合計	122,856,168	205,957,024
負債及び正味財産合計	129,104,090	215,560,679

※2025年3月31日現在(単位:円)

組織概要

名称	公益財団法人 風に立つライオン基金	
設立日	2015年8月10日	
公益認定日	2017年7月13日(内閣府より)／同7月21日登記)	
設立者	さだまさし(佐田雅志)	
所在地	本部	〒107-0052 東京都港区赤坂6-12-11 赤坂甲陽ビル
	四国支部	〒760-0034 香川県高松市内町1-13 日新内町ビル
	関西支部	〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第三ビル31F
	東北復興支部	〒986-0025 宮城県石巻市湊町2-8-24

評議員

鎌田 實	諏訪中央病院名誉院長
佐渡 裕	指揮者
古田敦也	スポーツキャスター
戸張 捷	ゴルフトーナメントプロデューサー
安西範康	株式会社エニー顧問

役員

理事長	古竹孝一
副理事長	千葉恵弘
常務理事	早野秀之
理事	佐田雅志
理事	佐田繁理
理事	伊澤武志
理事	三津川真紀
監事	桑野博輔

※2025年3月31日現在